

苅宿地区は、福島県の「鳥獣被害対策モデル地区」に設定されています。対策の三本柱は生息環境管理、有害捕獲、被害防除。このうち生息環境管理に力を入れた2025年の取り組みを紹介します。

苅宿地区 住民一丸で被害防除!

2025年の活動の流れ

4月

①恒久電気柵の設置

5月

●田植え

7月

②除草剤の散布
③電気柵追加設置

8月

●中間検討会

9月

●米の収穫

12月

●実績検討会



① 恒久電気柵の設置

4月に恒久電気柵を1kmにわたって設置しました。高張力線と単管パイプを使用し、たるみなく電線を設置することで、草刈りが容易になりました。この電気柵は、野生動物の侵入を防ぐだけでなく、作業効率、ワイヤーメッシュ柵よりも景観を悪くさせない効果が期待されました。

恒久電気柵とは

単管パイプを支柱とし、高張力でワイヤーを張る電気柵です。支柱の本数が減り、下草刈りが容易になりますが、複数人での設置が必要であったり、安易に外せないなどのデメリットもあります。



② 除草剤の散布

7月中旬に、夏の雑草対策として、電気柵下に除草剤と抑草剤（雑草を生えにくくする薬剤）を散布しました。

③ 電気柵追加設置

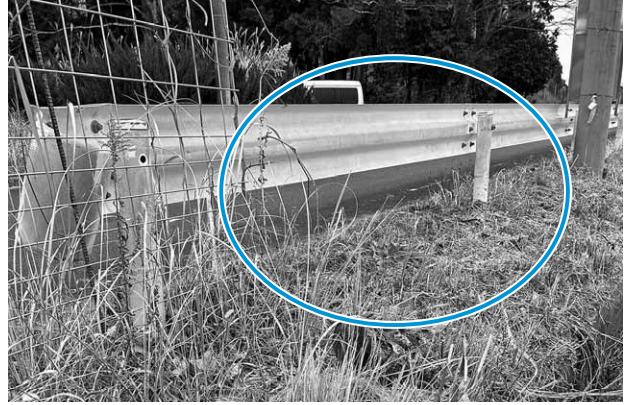
東京農業大学の学生と協力し、簡易電気柵やワイヤーメッシュ柵ゲートを設置し、複数のほ場をまとめて囲いました。これにより、センサーカメラでは、実際にワイヤーメッシュ柵ゲート前でイノシシが侵入を諦める様子が観察されました。



③電気柵設置の様子

課題と反省

- 抑草剤の効果が不十分だった。
- ガードレールの切れ目などから侵入された。



来年度の予定

来年度に向けて、改善策を計画しています。具体的には、4月下旬に一度除草を行い、6月下旬に除草剤と抑草剤の散布を実施する計画を立てています。また、ガードレールの切れ目を把握し、補強するための方法を検討。これにより、防護能力の強化を図ります。



苅宿地区の過去の取り組み



広報なみえ
2025年2月号

鳥獣被害アンケート結果



昨年12月に実施した
鳥獣被害アンケート
の結果

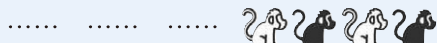


12月の実績検討会。農作業の合間に除草可能な期間を話し合いました。



有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。



問 農林水産課農林水産係
0240(34)0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与（出荷を目的とした農地に限る）

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



町ホームページ
でもご覧いただけ
ます